★参考資料

コンセプトストーリー

STORY

CAFEふぁうすと。可愛い女の子が働いていることで有名なこの街の名所でもあります。

働く女の子はいつも笑顔で、シナモンティーとハニートーストが最高に美味しいのだとか。

「いらっしゃいませ〜！！」

窓際に降り注ぐ清々しい陽射しと心地よい音楽で1日がはじまる。

朝に訪れると極々普通のカフェ。

だけどこんな噂があるんだ。みんな気をつけて。

午後６時６分には絶対に絶対にその店の前を通ってはいけない。

悪魔のささやき声が聞こえるんだってさ。

「来たれ 地獄を抜け出しし者 十字路を支配するものよ

汝 夜を旅する者 昼の敵 闇の朋友にして同伴者よ

犬の遠吠え 流された血を喜ぶ者 影の中墓場をさまよう者よ

あまたの人間に恐怖を抱かしめる者よ

ゴルゴ モルモ 千の形を持つ月の庇護のもとに

我と契約を結ばん」

もし、間違ってお店の前を通ってしまったら

絶対に振り返らないで、耳を塞いで全力で走り去ること。

いいね。絶対に振り返ってはいけないよ。

絶対にね。

「魔界に産まれ落ちたその日からずっと思ってた。いつか人間になって恋してみたいんだ。」

だんちゃん「あ〜。今日こそは素敵な出会いないかなぁ〜。」

ぷるちむ「朝っぱらから何言ってるの！はやくしないとOPEN時間になっちゃうよ！」

だんちゃん「はいはい。。ってほんとだ、早くトイレ掃除！私、外の掃除いってくるから！」

けるちゃん「もう終わってるってばー」

だんちゃん「あら。おはよ、けるちゃん満点ね、あなた。」

ぷるちむ「やれやれだわ。」

まもちゃん「マスターあと１０分で〜す！店中ぴっかぴかですよお〜」

ぷるちむ「みんな、ちょっといい？私たちは適当にカフェ店員やってイケメン見つけて結婚なんてことはできないんだから、仕事はしっかりこなす！終わったら週末のライブの練習しないといけないんだからね！」

だんちゃん「わかってますってば。あ〜あ普通に道端でぶつかって恋に落ちて、その後白馬に乗って迎えに来て結婚して小さいかわいい犬でも飼って素敵にすごせないかなぁ〜」

ぷるちむ「ん〜。もう！それは絶対無理なんだってば。人間と恋をするための魔王様との約束その１。週末はアイドルして歌で人間を魅了しなさい。」

けるちゃん「それ、めちゃわざとらしい、運営に都合のいい設定じゃん！」

ぷるちむ「突っ込まないの！魔王様が極度のアイドルヲタなんだから仕方ないじゃない。」

だんちゃん「やれやれ」

ぷるちむ「人間と恋をするための魔王様との約束その２。２０１９年８月までに東名阪単独ライブツアーを果たしなさい。」

まもちゃん「それも意味わかんないのよね。」

ぷるちむ「魔王様ミーハーなんだから仕方ないの。ほんとは魔王様がアイドルになりたかったらしいんだから。」

まもちゃん「想像してしまいました。それはご勘弁。」

ぷるちむ「最後。人間と恋をするための魔王様の約束その３。毎月youtubeで面白動画4本配信して再生回数を稼ぎなさい。毎月目標再生回数があってクリアーできたら新衣装やら、音源やらオフ会やら色々な特典がもらえるの。」

けるちゃん「なるほど。流行りのyoutuberブームに乗っかって、一攫千金ってわけね。じゃあ名前もけるちゃんじゃなくて、ケルキンとかにしたらいいのね。」

ぷるちむ「セ センス。。」

けるちゃん「てへ。」

ぷるちむ「とにかく、この３つが条件なの。達成すればいつでも人間にして もらえるんだから頑張らないと。悪魔のまま恋したり、結婚なんかしてみなさい。ぞっとするわよ。赤ちゃん黒い血流れるし、魔界から定期宅配来るたび家の上に黒い雲出現するし、教会近く歩けないし。最悪じゃん。」

だんちゃん「いろいろ恐ろしいね。」

ぷるちむ「というわけで、とにかくここでバイトしてしっかりお金稼いで、ライブして人間になるぞ〜 お〜！って感じなのよ。あれ？そういえばさっきゅんは？？」

だんちゃん「あ〜。なんかたまたま深夜番組で十字架みて、朝から体調悪いみたいよ。いいかげん十字架くらい慣れなさいってのw」

さっきゅん「居るよ。」

全員「うおっ！」

ぷるちむ「いつからいたのよ！体調大丈夫なの？」

さっきゅん「ダイジョウブ。ケハイケセル。」

まもちゃん「どんなキャラ設定。。」

ぷるちむ「おっと、時間よ。はいはい、みんな仕事モードよさぁ 開けますか。BGMはもちろん」

全員「トーストハニー！」